

現状と課題を整理し適正化を進めるために！

<名古屋地区>NOMA 行政管理講座のご案内

[平成31年2月20日(水)・21日(木)開催]

介護保険担当者のための

介護給付適正化事業と地域包括ケア構築の重要性

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

本会事業活動には、平素より格別のご支援・ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、各自治体では「介護給付適正化計画」を策定し、厚生労働省が推進する「介護給付費適正化事業」の実施が行われております。現在、適正化事業を積極的に実施している保険者ほど、給付費の伸びを抑制できている一方で、取り組み状況に地域差が見られるなどの問題点も指摘されております。

そこで今回、介護給付適正化事業の現状と課題を整理した上で「要介護認定の適正化」、「ケアマネジメント等の適正化」、「事業者のサービス供給体制及び介護報酬請求の適正化」の3つを要とした介護給付適正化のポイントについて学んでいただく標記講座を下記の通り開催いたします。現在特に課題となっているケアプラン点検の具体的な進め方についても、講義と演習を行います。

時節柄、ご多忙の折とは存じますが、ぜひこの機会に関係者各位の多数のご参加をおすすめ申し上げます。

敬 具

記

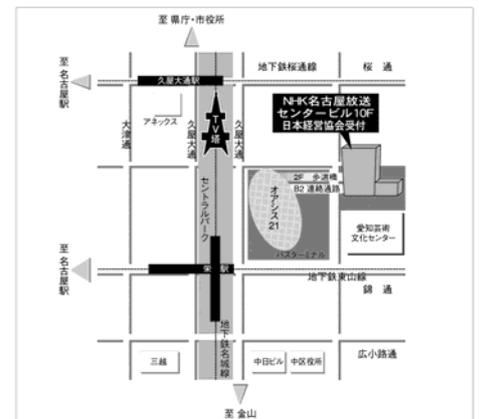
日 時：平成31年2月20日(水) 13:00~17:00
21日(木) 10:00~16:00 [2日間9H]

会 場：NHK名古屋放送センタービル内教室

講 師：株式会社千早ティー・スリー
コンサルティング部長 松本 博規 氏
社会福祉士、介護支援専門員

参 加 料：(負担金 1名につき)

	負担金	消費税等	合 計
NOMA会員	29,000 円	2,320 円	31,320 円
一 般	32,000 円	2,560 円	34,560 円



申込方法：裏面の申込書に必要事項をご記入の上、FAX等で下記へお申し込みください。折り返し、「参加券」と「振込口座名を記載した請求書」を、ご派遣責任者宛にお送ります。

- ・電話予約も受け付けております。その他ご不明な点は下記までお問い合わせください。
- ・負担金は原則開催日の3営業日前までに銀行振込にてお納めください。経理処理等の都合で遅れる場合は事前にご連絡ください。
- ・負担金は返却いたしかねますので、ご参加申込の方のご都合が悪くなられた場合は、代理の方にご出席いただけますようお願いいたします。
- ・領収書は「振込金受領書」をもって代えさせていただきます。必要な場合はご連絡下さい。

キャンセル：お申し込み後、キャンセルされる場合は必ず事前(3営業日前まで)にご連絡下さい。

開催日の3営業日前～前日までのキャンセルは受講料の30%、開催日当日のキャンセルは100%をキャンセル料として申し受けます。なお、当日までに連絡なくご欠席の場合も、100%のキャンセル料となりますので、あらかじめご了承ください。

ご宿泊(ご参考)：本会では宿泊手配(予約)はいたしませんので、直接ホテルへお申込みくださいますようお願いいたします。

※ご予約の際に、日本経営協会からの紹介であることをお申し出いただけますと、宿泊料金の割引がございます
※ホテルの宿泊料・割引等は事前にフロントにお確かめください(時期によって変動がございます)

ホテル名	シングル客室料金(ご参考)	交通	ホテル電話
東京第一ホテル錦	11,000 円~13,000 円(15~20%割引有)	地下鉄栄駅より徒歩3分	052-955-1001
ベストウェスタンホテル名古屋	7,000 円~	地下鉄栄駅より徒歩4分	052-263-3411

お問合せ：一般社団法人日本経営協会 中部本部 企画研修グループ(担当：竹本・里見)

お申込先 〒461-0005 名古屋市東区東桜1-13-3 NHK名古屋放送センタービル10F

TEL (052)957-4172 FAX (052)952-7418 ホームページ <http://noma-chubu.jp/>

※お問合せは、平日の9:15~17:15にお願いいたします。

◆講義項目◆

1. 介護給付適正化事業の再整理（対象と目的等）

- (1) 心身状態に合致しない給付から考える介護給付適正化事業の目的
- (2) 保険者による認定者の心身状態とサービス等の地域性
- (3) 介護給付適正化事業におけるケアプランの重要性

2. 地域包括ケア構築の重要性と介護保険制度・報酬改定の影響

- (1) 地域包括ケア構築の重要性
- (2) 介護報酬改定による介護給付状況への影響
- (3) 介護予防・日常生活支援総合事業移行による介護給付への影響

3. 主要5事業等の効果的な進め方のポイント

- (1) 適正化の対象及び目標と成果の明確化
- (2) 波及効果の高い介護給付適正化事業の進め方
- (3) 主要5事業等のPDCAサイクルごとのポイント

4. ケアプラン点検の具体的な進め方

- (1) 点検対象及び点検方法の検討・決定（抽出条件等）方法
- (2) 点検の実施方法
- (3) 点検後の対応（指導等）及び評価方法
- (4) 専門職以外でも可能な効率的・効果的なケアプラン点検方法

◆講師紹介◆

株式会社千早ティー・スリー コンサルティング部長 社会福祉士、介護支援専門員 松本 博規 氏

高齢者総合福祉施設「至誠ホーム」（東京都）、高齢者総合福祉センター「しらぬい荘」（熊本県）勤務後、平成10年より国立公衆衛生院公衆衛生行政学部研究生、平成11年より現職に至る。

社会福祉士、介護支援専門員。一般社団法人介護給付適正化推進協議会理事。

過去に大阪府介護支援専門員研修カリキュラム検討会議委員等を務め、現在は、都道府県及び市区町村職員を対象とした介護給付適正化事業の進め方等の研修や、介護支援専門員等を対象としたケアプラン作成方法等の研修を全国で行っている。

主な著書は、「介護保険システムのマネジメント」（共著：医学書院）や「これならわかる『給付管理』」（共著：医学書院）等。

日本経営協会・中部本部 竹本 行（この面をそのままFAXしてください） FAX (052) 952-7418

□日本経営協会会員 □一般（該当する方にレ印をつけて下さい） H31/2.20-21

60011908 「介護給付適正化事業と地域包括ケア構築の重要性」講座・参加申込書 年 月 日

ふりがな 団体名		TEL	() -	ご派遣責任者（ご連絡担当） <所属・役職名>
		Fax	() -	
所在地	〒			<氏名>
No.	フリガナ	所属・役職	担当経験	印
	参加者氏名			
			年月	<メールアドレス>
			年月	<ご記入（レ印）のお願い> この講座の開催情報を得た時期は、 講座開催日の □半年以上前 □3ヶ月～半年前 □2ヶ月前 □1ヶ月前 □2週間前 □1週間前～直前
<通信欄>				

※請求書の宛名についてご教示ください。【 □団体名と同じ・ □異なる（宛名）】

※太枠内にご記入ください。3名様以上でお申込の場合は、別紙等に記載しあわせてお送りいただくか、複写してご利用ください。

※参加申込書にご記入いただいた情報は、以下の目的に使用させていただきます。

①参加券や請求書の発送などの事務処理 ②セミナーなど本会事業のご案内 なお②がご不要の場合は、右口にチェックしてください。 □